

アルミニウム合金の加工硬化特性と転位組織に関する研究

越能, 悠貴

<https://hdl.handle.net/2324/2236181>

出版情報 : Kyushu University, 2018, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

| | | | | |
|--------|----------------------------|------|----|-------|
| 氏名 | 越能悠貴 (こしの ゆうき) | | | |
| 論文名 | アルミニウム合金の加工硬化特性と転位組織に関する研究 | | | |
| 論文調査委員 | 主査 | 九州大学 | 教授 | 金子 賢治 |
| | 副査 | 九州大学 | 教授 | 中島 英治 |
| | 副査 | 九州大学 | 教授 | 土山 聡宏 |

論文審査の結果の要旨

本論文は、自動車ボディパネル材として量産されるような Al-Mg-Si 系合金の成分ならびに時効処理条件が加工硬化特性に及ぼす影響を明らかにするだけでなく、塑性変形中の転位運動に及ぼす影響の観点から、材料組織因子を調査し、Al-Mg-Si 系合金のプレス成形性を向上するための材料設計指針を示したもので、材料工学の分野で寄与するところが大きい。よって本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。